



はじめよう！

すい  
水

ふく  
福

れん  
連

けい  
携

水福連携とは、水産業と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする多様な人たちが、水産業で活躍することを通じて、自信や生きがいをもって社会参画することを実現する取組です。



### 水産業の課題

- ・就業者の減少
- ・慢性的な担い手不足
- ・高齢化の進展
- ・地道な作業を行うことが多いなど



### 福祉の課題

- ・利用者の就労・生産活動の機会が欲しい
- ・利用者の賃金・工賃を向上したい
- ・利用者の社会との繋がりを確保したい など



水産事業者

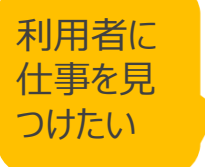
マッチング

障害者就労施設



作業をお願いしたい

双方にメリット



利用者に仕事を見つけたたい



農業 林業への広がり

高齢者、生活困窮者、ひきこもりの状態にある者、犯罪をした者等への広がり

水産業を通じて、全ての人が活躍できる社会を目指します



水福連携について知りたい方はこちら →

11月29日は「ノウフクの日」です！

担当：水産庁漁政部企画課労働安全・デジタル班  
直通：03-3592-0731

# 水福連携を始めたいと思ったら？

## ★水産事業者の方

まずは・・・

- ・地方自治体の福祉部局に相談する。
- ・近隣のハローワークに相談する。
- ・障害者就職面接会に参加する。
- ・特別支援学校の職場実習を受け入れる。
- ・近隣の障害者就労施設へ訪問する。
- ・共同受注窓口を利用する。



相談

試行的な雇用の実施

正式雇用

## ★障害者就労施設等の方

まずは・・・

- ・地方自治体の福祉部局や農林水産部局に相談する。
- ・道府県の普及指導室や近隣の漁業協同組合に相談する。
- ・共同受注窓口を利用する。

相談

試行的な作業請け負いの実施

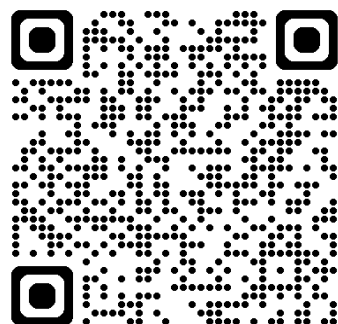
正式契約

※共同受注窓口…企業等が発注したい物品や役務の内容を、受注が可能な障害者就労施設にあっせん・仲介する窓口

詳しくは水産庁ホームページ

水福連携の推進

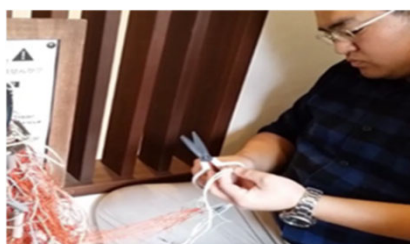
で検索！



## 実際の取組事例

### 【神奈川県】

- 漁師が漁で使用した漁具（魚や海老の刺網）を解体する作業を実施。
- 水産事業者は、解体してもらった刺網のパーツを再利用することができる。
- 障害者就労施設は、施設内で作業ができるため天候に左右されずに作業を行うことができる。



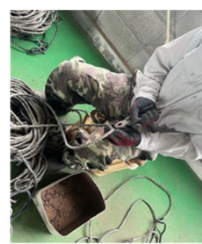
【刺網の解体（ばらし）作業の様子】

### 【三重県】

- カキ養殖の種苗採取に用いるコレクターの作製作業や、カキ養殖用ロープの釘抜き作業を実施。
- 令和5年度には障害者就労施設における作業量が平成28年度比で45倍に増加し、工賃単価も上昇。



【カキ天然採苗用コレクター作製作業の様子】



【カキ養殖用ロープの釘抜き作業の様子】